

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局



(43) 国際公開日  
2002 年1 月17 日 (17.01.2002)

PCT

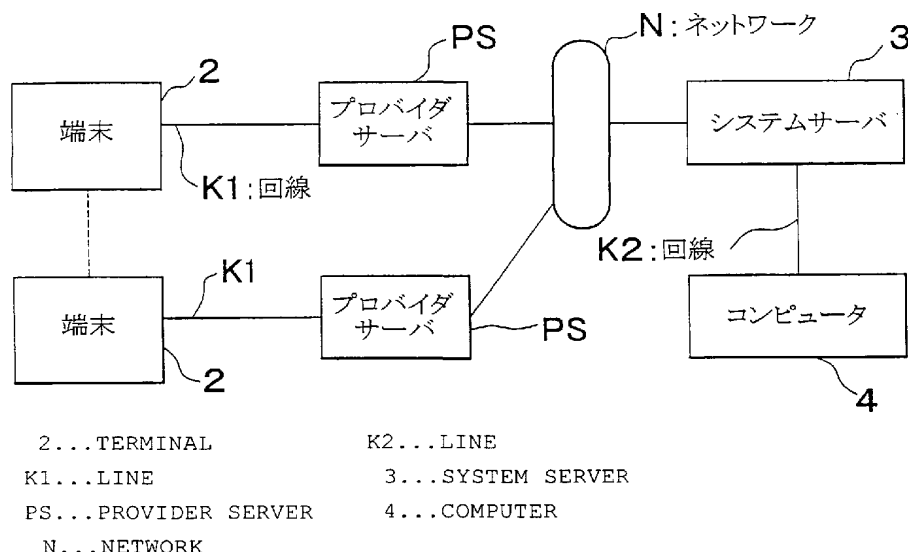
(10) 国際公開番号  
WO 02/05158 A1

- (51) 国際特許分類: G06F 17/60 (72) 発明者; および  
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 垣本克則 (KAKI-MOTO, Katsunori) [JP/JP]; 〒604-0857 京都府京都市中京区烏丸通二条上る蔭絵屋町 267番地 Kyoto (JP). 後藤真人 (GOTO, Makoto) [JP/JP]; 〒154-0023 東京都世田谷区若林4丁目29番4号 Tokyo (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP01/05799
- (22) 国際出願日: 2001 年7 月4 日 (04.07.2001)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ: 特願2000-205093 2000 年7 月6 日 (06.07.2000) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株式会社メディカルユーコン (MEDICAL YUKON PUBLISHING CO., LTD.) [JP/JP]; 〒604-0857 京都府京都市中京区烏丸通二条上る蔭絵屋町 267番地 Kyoto (JP).
- (81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZW.

[続葉有]

(54) Title: COMMODITY PROVIDING SYSTEM AND METHOD THEREFOR

(54) 発明の名称: 商品提供システムおよびその方法



(57) Abstract: A desired item is selected from the menu displayed on a terminal (2). Explanation for skin care and a check sheet for checking the skin properties of the user are displayed when a skin care program is selected. When the user selects the relevant check box of the check sheet through the terminal (2) and sends it, a system server (3) diagnoses the skin properties according to a diagnosis program and displays the results on the terminal (2). On the diagnosis result page, a link to a page where commodities most suitable for the diagnosed skin properties are introduced is displayed. On the page, photographs and explanations of the commodities for skin care are displayed. If the user wants to buy a commodity, the user selects it on the screen of the terminal (2), inputs purchase data and a settlement method. The data is sent to a computer (4) of a commodity center through the system server (3), and the commodity is shipped.

[続葉有]



(84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:  
— 国際調査報告書

2 文字コード及び他の略語については、定期発行される各 *PCT* ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

---

(57) 要約:

端末 2 に表示されたメニューから希望の項目を選択する。美肌プログラムを選択すると、美肌に関する解説、利用者の肌体質を判定するチェックシートなどが表示される。端末 2 から該当するチェックシートのチェックボックスを選択して送信すると、システムサーバ 3 は、診断プログラムに基づいて肌体質を診断し、その結果を端末 2 に表示させる。診断結果は、診断された肌体質に最適な商品を紹介したページのリンクが設けられ、そのページには美肌に関する商品の写真や解説などが表示される。商品を購入する際には端末 2 から商品を選択し、購入データ、決済方法を入力する。これらのデータは、システムサーバ 3 を介して商品センタのコンピュータ 4 に送信され、商品が発送される。

## 明細書

## 商品提供システムおよびその方法

## 5 技術分野

本発明は、情報ネットワークを介した商品の提供技術に関し、特に、インターネットにおけるバーチャルショップの商品提供に適用して有効な技術に関するものである。

## 10 背景技術

いわゆる、インターネットなどの情報ネットワークの普及に伴い、仮想店舗（バーチャルショップ）のホームページを利用して商品を購入する通信販売が拡大しつつある。

本発明者が検討したところによれば、バーチャルショップを利用して、たとえば、スキンケア商品、健康食品、あるいは栄養補給材であるサプリメントなどを購入する際には、利用者がインターネットを介して希望の商品が掲載されているバーチャルショップのホームページにアクセスして端末の表示部に表示させ、該ホームページの電子カタログに記載されている商品の効能などを参考にして、最適と思われる商品を利用者自身が判断し、購入している。

なお、この種のバーチャルショップについて詳しく述べてある例としては、2000年3月20日、日経BP社発行、日経BP社出版局（編）、「日経BP デジタル大辞典 2000－2001年版」P1022があり、この文献には、インターネットによるオンラインショッピングについて記載されている。

ところが、上記のようなオンラインショッピングにおける商品の購入方法

では、次のような問題点があることが本発明者により見い出された。

すなわち、ホームページに記載された商品の情報だけを参考にし、利用者自身が判断して購入するので、スキンケア商品、健康食品、サプリメントなどの症状によって選択される商品が異なる場合、利用者の症状にあった商品  
5 が選択されない恐れが生じてしまう。

また、バーチャルショップによっては、改善したい症状などをメールで送信すると利用者に回答が返信される相談室などが設けられている場合もあるが、利用者が一方的に質問をするだけで回答者に十分な情報が伝わらず、誤った商品が提案されてしまう恐れもある。

10 本発明の目的は、利用者の体質を短時間で高精度に判定し、最適な商品を提案することのできる商品提供システムおよびその方法を提供することにある。

本発明の前記ならびにその他の目的と新規な特徴は、本明細書の記述および添付図面から明らかになるであろう。

15

## 発明の開示

本発明の商品提供システムは、体質を判定するチェックシートの回答、および選択した商品データ、ならびに購入データからなる商品発注データを入力してネットワークに送信し、かつ該ネットワークを介して転送された体質  
20 の判定結果、前記商品の情報を表示する複数の利用者端末と、該利用者端末からネットワークを介してチェックシートの回答が入力された際には、判定プログラムに基づいて利用者の体質を判定するとともにその判定結果に見合った商品を選択し、判定結果と選択した商品の情報とをネットワークを介して利用者端末に返信し、ネットワークを介して利用者端末から商品発注データ  
25 が送信された際には、その商品の発注を受け付けるシステムサーバとを備えたことを特徴とする。

また、本発明の商品提供方法は、利用者端末に表示された体質を判定するチェックシートの回答をネットワークを介してシステムサーバに入力するステップと、その回答からシステムサーバが、判定プログラムに基づいて、利用者の体質を判定するとともにその判定結果に見合った商品を選択し、判定結果と選択した商品の情報とをネットワークを介して利用者端末に返信し、利用者端末に表示させるステップと、該利用者端末から商品の選択、および購入データの入力を行い、ネットワークを介して前記システムサーバに送信して商品を発注するステップとを有することを特徴とする。

さらに、本発明の商品提供方法は、利用者端末に表示された体質を判定するチェックシートの回答をネットワークを介してシステムサーバに入力するステップと、その回答からシステムサーバが、判定プログラムに基づいて、利用者の体質を予め設定された２以上のタイプのうち、どのタイプに属するかを判定し、判定したタイプの解説、ならびにそのタイプに見合った商品の情報をネットワークを介して利用者端末に返信し、該利用者端末に表示させるステップと、利用者端末から商品の選択、および購入データの入力を行い、ネットワークを介してシステムサーバに送信し、その商品を発注するステップとを有することを特徴とする。

また、本発明の商品提供方法は、利用者端末に表示された利用者の肌体質を判定するチェックシートの回答をネットワークを介してシステムサーバに入力するステップと、その回答からシステムサーバが、判定プログラムに基づいて、利用者の肌体質を予め設定された２以上のタイプのうち、どのタイプに属するかを判定し、そのタイプに見合ったスキンケア商品を選択し、判定されたタイプとスキンケア商品の情報とをネットワークを介して利用者端末に返信し、該利用者端末に表示させるステップと、利用者端末からスキンケア商品の選択、および購入データの入力を行い、ネットワークを介してシステムサーバに送信し、スキンケア商品を発注するステップとを有すること

を特徴とする。

さらに、本発明の商品提供方法は、利用者端末に表示された利用者のボディタイプを判定するチェックシートの回答をネットワークを介してシステムサーバに入力するステップと、その回答からシステムサーバが、判定プログラムに基づいて、利用者のボディタイプを予め設定された2以上のタイプのうち、どのタイプに属するかを判定し、そのタイプに見合った健康食品を選択し、判定されたタイプと健康食品の情報とをネットワークを介して利用者端末に返信し、該利用者端末に表示させるステップと、利用者端末から健康食品の選択、および購入データの入力を行い、ネットワークを介してシステムサーバに送信し、健康食品を発注するステップとを有することを特徴とする。

以上のことにより、利用者端末に表示されたチェックシートに回答するだけでシステムサーバが判定プログラムに基づいて利用者の体質や症状を短時間で的確に判断し、それら体質や症状に見合った商品を提案するので、利用者に最適な商品を短時間で効率よく提供することができる。

#### 図面の簡単な説明

図1は、本発明の一実施の形態による商品提供システムの構成図、図2は、本発明の一実施の形態による利用者端末に表示されるプログラムメニューの一例を示す説明図、図3は、美肌プログラムが選択された際に端末に表示される美肌に関する解説、および利用者の肌体質を判定するチェックシートの解説の説明図、図4は、美肌プログラムが選択された際に端末に表示されるチェックシートの説明図、図5は、端末に表示される判定グラフ、ならびに判定結果の説明図、図6は、端末に表示されるタイプ毎の解説の一例を示す説明図、図7は、端末に表示されるおすすめの漢方薬図鑑のページの説明図、図8は、端末に表示されるおすすめのクッキングレシピのページの説明図、

図 9 は、端末に表示される商品紹介のページの説明図、図 10 は、商品提供システムによる体質判定から商品発注までのフローチャート、図 11 は、ダイエットプログラムが選択された際に端末に表示されるダイエットに関する解説、およびボディタイプを判定するチェックシートの解説の説明図、図 12 ~ 図 14 は、ダイエットプログラムが選択された際に端末に表示されるチェックシートの説明図、図 15 は、端末に表示されるそれぞれボディタイプにおける判定グラフの説明図、図 16 は、端末に表示された判定結果、ならびに判定されたタイプの解説を示す説明図である。

#### 10 発明を実施するための最良の形態

本発明を詳細に説明するために、添付の図面に従ってこれを説明する。なお、実施例を説明するための全図において、同一機能を有するものは同一符号を付け、その繰り返しの説明は省略する。

本実施の形態において、商品提供システム 1 は、複数の端末（利用者端末）2、システムサーバ 3、ならびにコンピュータ 4 から構成されている。端末 2 は、ワークステーション、パーソナルコンピュータ、あるいは携帯可能でパケット通信などの通信機能を有した携帯電話機や PDA（Personal Digital Assistants）などの携帯端末情報通信機器などである。

複数の端末 2 は、電話回線、無線回線、あるいは専用回線などの回線 K1 を介してインターネットプロバイダのプロバイダサーバ P S などに接続されている。プロバイダサーバ P S、およびシステムサーバ 3 は、インターネット N に接続されている。

システムサーバ 3 には、インターネット N を通じて不特定多数の利用者に閲覧してもらうマルチメディアコンテンツ、いわゆるホームページが格納されており、端末 2 などから要求された情報などを一元的に管理して提供する。

このシステムサーバ 3 に格納されたホームページは、美容と健康に役立つ情報提供を目的としたものであり、アクセスした利用者の体質を判定するプログラム、体質毎の対処法を説明するプログラムなどが東洋医学を基礎にして備えられている。

- 5      さらに、このホームページにリンクして、判定された利用者の体質に適したスキンケア商品、栄養補助食品などの商品紹介が搭載されたホームページが設けられている。

10      端末 2 には、WWW (W o r l d   W i d e   W e b) ブラウザなどのインターネット通信プログラムなどが格納されており、利用者は、インターネット通信プログラムを用いてシステムサーバ 3 にアクセスし、ホームページなどを閲覧する。

15      また、コンピュータ 4 は、専用回線、あるいは電話回線などの回線 K 2 を介してシステムサーバ 3 が接続されている。コンピュータ 4 は、商品センタなどに設置されており、利用者が端末 2 からシステムサーバ 3 のホームページ上でオーダーした際に入力された商品購入や発送手配などのデータを格納し、管理する。

次に、本実施の形態の作用について、図 1、図 2 ～図 9 のホームページの説明図、および図 10 のフローチャートを用いて説明する。

20      まず、利用者は、端末 2 に格納されたインターネット通信プログラムを立ち上げてプロバイダサーバ P S を介してシステムサーバ 3 にアクセスする (ステップ S 101)。

インターネット通信プログラムによって端末 2 がシステムサーバ 3 に接続されると、該端末 2 には、図 2 に示すように、ホームページの最初の画面であるプログラムメニューが表示される (ステップ S 102)。

25      利用者は、表示されたプログラムメニューの中から希望するプログラムにマウスポインタを合わせて、マウスに設けられたボタンをクリックすること



により選択する（ステップS 1 0 3）。ここでは、図 2 のプログラムメニューにおける「あなたの美肌プログラム」が選択されたものとする。

「あなたの美肌プログラム」が選択されると、端末 2 には、図 3、図 4 に示すように、美肌に関する解説、利用者の肌体質を判定するチェックシート  
5 の解説、および判定に用いられるチェックシートが表示される（ステップ S 1 0 4）。図 4 における肌体質のチェックシートは、約 3 0 問程度の質問からなり、これら質問が記載された質問欄の左側には、チェックボックスが設けられている。

利用者は、端末 2 に表示されたチェックシートの質問から該当するチェック  
10 クボックスを選択する。チェックボックスは、チェックシートの質問項目から必要なものを選択する仕組みであり、該チェックボックスにマウスポインタを合わせてクリックすることにより、その項目が選択されてチェックマークがつくものである。

そして、すべての質問の回答が終了すると、利用者は、チェックシート  
15 下方に設けられた「判定」ボタンにマウスポインタを合わせてクリックする（ステップ S 1 0 5）。

判定ボタンがクリックされることにより、システムサーバ 3 に利用者のチェックシートへの入力結果が送信される。システムサーバ 3 は、格納された診断プログラムに基づいて入力結果を演算して診断し（ステップ S 1 0 6）、  
20 その診断結果、および診断結果の解説を端末 2 に表示させる（ステップ S 1 0 7）。

診断結果は、図 5 に示す判定グラフ、判定結果、ならびに図 6 に示す判定されたタイプの解説から構成されている。判定グラフは、分類されたタイプ 1 ～タイプ 5 における確信度を棒グラフによって表示したものである。

25 また、その棒グラフの下方には、棒グラフによって表示された 5 つのタイプのうち、最も確信度が高いタイプが判定結果として表示されている。図 5

では、タイプ 1 の確信度が最も高いので、判定結果としてタイプ 1 が表示されている。

この判定結果の下方には、タイプ 1 ～タイプ 5 における肌体質の解説がそれぞれ表示されている。ここでは、タイプ 1 ～タイプ 5 のすべての解説を表示しているが、判定結果に表示されたタイプの解説だけを判定結果の下方に表示するようにしてもよい。

さらに、これらタイプ 1 ～タイプ 5 の下方には、おすすめ商品を紹介したページ、おすすめ漢方薬図鑑を掲載したページ、およびおすすめクッキングレシピを掲載したページが結びつけられたハイパーリンクのアイコンがそれぞれ表示されており、これらアイコンの何れか 1 つをマウスポインタを合わせてクリックすることによって指定されたホームページに接続される。

ここで、診断プログラムに基づく診断方法について説明する。

肌体質は、前述のようにタイプ 1 ～ 5 に分類されており、チェックシートの個々の質問には、これらタイプ別にスコアがそれぞれ割り付けられている。たとえば、チェックシートの質問 Q 1 において、タイプ 1 には 0 点、タイプ 2 は 1 0 点、タイプ 3 には 5 点、タイプ 4 は 1 0 点、タイプ 5 には 1 5 点が、それぞれ割り付けられている。

そして、システムサーバ 3 は、チェックされたチェックボックスに割り付けられたスコアを基にタイプ毎に個別に確信度計算し、それらの計算結果を確信度として棒グラフに表示するとともに、最も確信度の高いタイプを検出し、判定結果として表示する。

また、2 つ以上のタイプの確信度が同点となった場合には、たとえば、チェックボックスにチェックされた質問のうち、同点となったタイプ毎に、1 0 点以上の全スコアを合計し、スコアの合計が多い方のタイプにスコア 1 0 点を加算して確信度計算し、判定結果のタイプとして表示する。

さらに、同点となったタイプ毎に 1 0 点以上の全スコアを合計し、なおか

つ同点になった場合は、15点以上の全スコアを合計し、スコアの合計が多い方のタイプにスコア10点を加算して確信度計算し、判定結果のタイプとして表示する。

- そして、利用者は、診断結果に該当する肌体質タイプの解説を読んだ後、
- 5    おすすめ商品を紹介したページである「あなたにおすすめの商品紹介ページ」のアイコンにマウスポインタを合わせて選択する（ステップS108）。

このとき、利用者は、おすすめ漢方薬図鑑、あるいはおすすめクッキングレシピを掲載したページがリンクされたアイコンをマウスポインタを合わせて閲覧するようにしてもよい。

- 10    「あなたにおすすめの漢方薬図鑑」のページは、図7に示すように、それぞれのタイプ毎におすすめの漢方薬の写真や効能などの解説が記載されている。「あなたにおすすめのクッキングレシピ」のページでは、図8に示すように、それぞれのタイプ毎に漢方薬を用いたクッキングレシピが記載されている。

- 15    そして、ステップS108の処理において、「あなたにおすすめの商品紹介ページ」のアイコンが選択されると、システムサーバ3に格納されたスキンケア商品紹介画面のプログラムが起動され、端末2には、それぞれのタイプ毎による商品紹介のページが表示される（ステップS109）。

- この商品紹介のページには、図9に示すように、スキンケア商品として、
- 20    洗顔料、化粧水、美容液、ならびに健康食品などの各美肌商品の写真や解説などが掲載されている。利用者が商品を購入する際には、商品紹介のページに設けられた商品購入画面表示のボタンにマウスポインタを合わせてクリックし（ステップS110）、端末2に商品購入画面を表示させる（ステップS111）。

- 25    利用者は、商品購入画面から希望の商品を選択し、購入する際に必要な購入データを入力する（ステップS112）。購入データは、たとえば、利用者

の住所、氏名、年齢、ならびに電話番号などである。

利用者が購入する商品、および購入データが送信され、システムサーバ 3 に受け付けられると、該システムサーバ 3 は、決済方法選択画面を端末 2 に表示させる（ステップ S 1 1 3）。

- 5      利用者は、端末 2 に表示された決済方法選択画面から希望する決済方法を選択する。決済方法としては、たとえば、クレジットカード、郵便振替、商品代引きなどである。クレジットカードによる決済の場合には、端末 2 からクレジットカード番号を入力する（ステップ S 1 1 4）。

- 10      これらステップ S 1 1 2 ～ S 1 1 4 の処理において、希望の商品、購入データ、決済方法のデータが正常に入力されたことをシステムサーバ 3 が確認すると、これらのデータが該システムサーバ 3 に格納され、商品購入の受付が終了する（ステップ S 1 1 5）。また、データが正常に入力されていない場合、システムサーバ 3 は利用者にデータを再入力させるコメントを端末 2 に表示させる。

- 15      システムサーバ 3 によって受け付けられた商品購入に関するデータは、回線 K 2 を介してコンピュータ 4 に送信される。商品センタでは、コンピュータ 4 に格納された商品購入に関するデータに基づいて商品を手配し、利用者が指定した場所に発送する（ステップ S 1 1 6）。よって、利用者の肌体質にあった美肌商品を的確に提供することができる。

- 20      また、ステップ S 1 0 3 の処理において、利用者が、図 2 のプログラムメニューにおける「あなたのダイエットプログラム」を選択した場合について、図 1 1 ～図 1 6 を用いて説明する。

- 25      まず、「あなたのダイエットプログラム」が選択されると、端末 2 には、図 1 1 に示すダイエットに関する解説、利用者のボディタイプを判定するチェックシートの解説、および判定に用いられるチェックシートが表示される。

このボディタイプのチェックシートは、「あなたの胃腸の強弱度チェック」、

「あなたの冷え症度チェック」、ならびに「あなたの運動不足度チェック」の3つのステップのチェックシートからなる。

- 「あなたの胃腸の強弱度チェック」は、図12に示すように、約20問程度の質問からなり、これらの質問が記載された質問欄の右側には、「はい」、
- 5 「どちらでもない」、「いいえ」の3つのチェックボックスが設けられている。

また、「あなたの冷え症度チェック」は、図13に示すように、約10問程度の質問からなり、これらの質問が記載された質問欄の右側には、同様に、「はい」、「どちらでもない」、「いいえ」の3つのチェックボックスが設けられている。

- 10 さらに、「あなたの運動不足度チェック」は、図14に示すように、約10問程度の質問からなり、同様に、質問欄の右側には、「はい」、「どちらでもない」、「いいえ」の3つのチェックボックスが設けられている。

- 利用者は、端末2に表示された3つのチェックシートにおけるすべての質問に該当するチェックボックスを選択する。チェックシートの回答が終了すると、利用者は、「判定」ボタンにマウスポインタを合わせてクリックし、システムサーバ3にチェックシートの入力結果を送信する。
- 15

システムサーバ3は、格納された診断プログラムに基づいて入力結果を演算して診断する。システムサーバ3は、演算して得られた診断結果、およびその診断結果の解説を端末2に表示させる。

- 20 診断結果は、図15に示す判定グラフ、ならびに図16に示す判定結果、判定されたタイプの解説から構成されている。判定グラフは、ボディタイプを8つに分類し、それらボディタイプが、どのような領域（痩せる領域肥る領域）にあるのかをビジュアル的にそれぞれ示したものである。

- また、その判定グラフの下方には、システムサーバ3によって演算された該当するボディタイプが判定結果として表示されている。この判定結果の下方には、ボディタイプ1～ボディタイプ8の解説がそれぞれ表示されている。
- 25

ここでは、ボディタイプ1～ボディタイプ8のすべての解説を表示したが、判定結果に表示されたタイプの解説だけを判定結果の下方に表示するようにしてもよい。

さらに、ボディタイプ1～ボディタイプ8の下方には、おすすめ商品を紹介したページを掲載したページを結びつけるハイパーリンクのアイコンがそれぞれ表示されており、これらアイコンの何れか1つをマウスポインタを合わせてクリックすることによって指定されたホームページに接続される。

ここで、診断プログラムに基づく診断方法について説明する。

ボディタイプの診断プログラムは、東洋医学を基礎として「胃腸の強弱度」、「冷え症度」、「運動不足度」により、ボディタイプを判定する方法を採用している。

前述したようにボディタイプのチェックシートでは、1つの質問に対して、「はい」、「どちらでもない」、「いいえ」の3つのチェックボックスが設けられていて、これら3つのチェックボックス毎に「胃腸の強弱度」であれば胃腸の強弱についてスコアが割り付けられる。

たとえば、「胃腸の強弱度」チェックシートの質問Q1の「はい」は0点、「どちらでもない」は2点、「いいえ」は4点が割り付けられる。そして、システムサーバ3は、チェックボックスにチェックされた質問に割り付けられたスコアを、「胃腸の強弱度」、「冷え症度」、「運動不足度」毎の個別に合計する。

それらの合計したスコアに基づいて「胃腸の強弱度」、「冷え症度」、「胃腸の強弱度」を段階評価し、この段階評価結果に基づきボディタイプを判定結果として表示する。

また、判定グラフを表示する際、同時に、システムサーバ3が算出した「胃腸の強弱度」、「冷え症度」、「運動不足度」の段階評価結果を棒グラフなどに表示するようにしてもよい。

そして、診断結果に該当するボディタイプの解説を読んだ後、ボディタイプ1～3に該当する利用者は、おすすめ商品を紹介したページである「おすすめの商品紹介ページ」のアイコンにマウスポインタを合わせて選択する（ステップS107）。

- 5      また、ダイエットプログラムにおいて、ボディタイプ4～8（図15）に該当する利用者はダイエットが不要なので、おすすめ商品が紹介されているページにリンクするアイコンは設けられていない。

- そして、ボディタイプ1～3のいずれかに該当する利用者が、「おすすめの商品紹介ページ」のアイコンを選択すると、システムサーバ3に格納された  
10      ダイエット商品紹介画面のプログラムが起動され、端末2には、それぞれのタイプ毎によるダイエット商品（健康食品）紹介のページが表示される

利用者が商品を購入する際には、商品紹介のページに設けられた商品購入画面表示のボタンにマウスポインタを合わせてクリックし、端末2に商品購入画面を表示させる。

- 15      利用者は、商品購入画面から希望の商品を選択し、たとえば、利用者の住所、氏名、年齢、ならびに電話番号などの購入データを入力する。これらのデータは、送信先のシステムサーバ3に受け付けられ、該システムサーバ3は、決済方法選択画面を端末2に表示させる。

- 利用者は、端末2に表示された決済方法選択画面から希望する決済方法を  
20      選択する。クレジットカードにより決済する場合には、端末2からクレジットカード番号を入力する。

- 希望の商品の選択、購入データ、および決済方法などのデータが正常に入力されると、システムサーバ3による商品購入の受付が終了する。システムサーバ3は、商品購入に関するデータを回線K2を介して商品センタに設置  
25      されたコンピュータ4に送信する。商品センタでは、コンピュータ4に格納された商品購入に関するデータに基づいて商品を手配し、利用者が指定した

場所に商品を発送する。よって、利用者のボディタイプにあったダイエット商品を的確に提供することができる。

また、ここでは、美肌プログラムとダイエットプログラムとについて記載したが、図2に示す他のプログラムメニューにおいても、同様に、システムサーバ3がチェックシートの回答から確信度を算出し、最も確信度が高いタイプを判定結果とし、そのタイプに見合った商品を提供している。

それにより、本実施の形態によれば、ホームページ上に掲載されたチェックシートに回答するだけで利用者の体質や症状を短時間で的確に判断し、それら体質や症状に見合った商品を提案するので、利用者に最適な商品を短時間で効率よく提供することができる。

また、本実施の形態では、東洋医学を基礎にしたスキンケア商品、および健康食品を提供する場合について記載したが、これら商品以外にも、図2に示した発毛、白髪体質や花粉症体質などの様々な体質をチェックし、それらの体質に見合った商品を提供することができる。

以上、本発明者によってなされた発明を実施例に基づき具体的に説明したが、本発明は前記実施例に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲で種々変更可能であることはいうまでもない。

#### 産業上の利用可能性

以上のように、本発明にかかる商品提供システムおよびその方法は、利用者端末に表示されたチェックシートに回答するだけでシステムサーバが判定プログラムに基づいて利用者の体質や症状を短時間で的確に判断し、それら体質や症状に見合った商品を提案することができ、利用者に最適な商品を短時間で効率よく提供することができる。



## 請求の範囲

1. 体質を判定するチェックシートの回答、および選択した商品データ、ならびに購入データからなる商品発注データを入力してネットワークに送信し、
- 5   かつ前記ネットワークを介して転送された体質の判定結果、前記商品の情報を表示する複数の利用者端末と、

前記利用者端末から前記ネットワークを介して前記チェックシートの回答が入力された際には、判定プログラムに基づいて、利用者の体質を判定するとともにその判定結果に見合った商品を選択し、前記判定結果と前記選択した商品の情報とを前記ネットワークを介して前記利用者端末に返信し、前記ネットワークを介して、前記利用者端末から前記商品発注データが送信された際には、前記商品の発注を受け付けるシステムサーバとを備えたことを特徴とする商品提供システム。

10

2. 利用者端末に表示された体質を判定するチェックシートの回答をネットワークを介してシステムサーバに入力するステップと、
- 15

その回答から前記システムサーバが、判定プログラムに基づいて、利用者の体質を判定するとともにその判定結果に見合った商品を選択し、前記判定結果と前記選択した商品の情報とを前記ネットワークを介して前記利用者端末に返信し、前記利用者端末に表示させるステップと、

- 20   前記利用者端末から前記商品の選択、および購入データの入力を行い、前記ネットワークを介して前記システムサーバに送信し、前記商品を発注するステップとを有することを特徴とする商品提供方法。

3. 利用者端末に表示された体質を判定するチェックシートの回答をネットワークを介してシステムサーバに入力するステップと、

- 25   その回答から前記システムサーバが、判定プログラムに基づいて、利用者の体質を予め設定された2以上のタイプのうち、どのタイプに属するかを判

定し、判定したタイプの解説、ならびにそのタイプに見合った商品の情報を前記ネットワークを介して前記利用者端末に返信し、前記利用者端末に表示させるステップと、

前記利用者端末から前記商品の選択、および購入データの入力を行い、前記ネットワークを介して前記システムサーバに送信し、前記商品を発注する  
5 ステップとを有することを特徴とする商品提供方法。

4. 利用者端末に表示された利用者の肌体質を判定するチェックシートの回答をネットワークを介してシステムサーバに入力するステップと、

その回答から前記システムサーバが、判定プログラムに基づいて、利用者の肌体質を予め設定された2以上のタイプのうち、どのタイプに属するかを判定し、そのタイプに見合ったスキンケア商品を選択し、前記判定されたタイプと前記スキンケア商品の情報とを前記ネットワークを介して前記利用者  
10 端末に返信し、前記利用者端末に表示させるステップと、

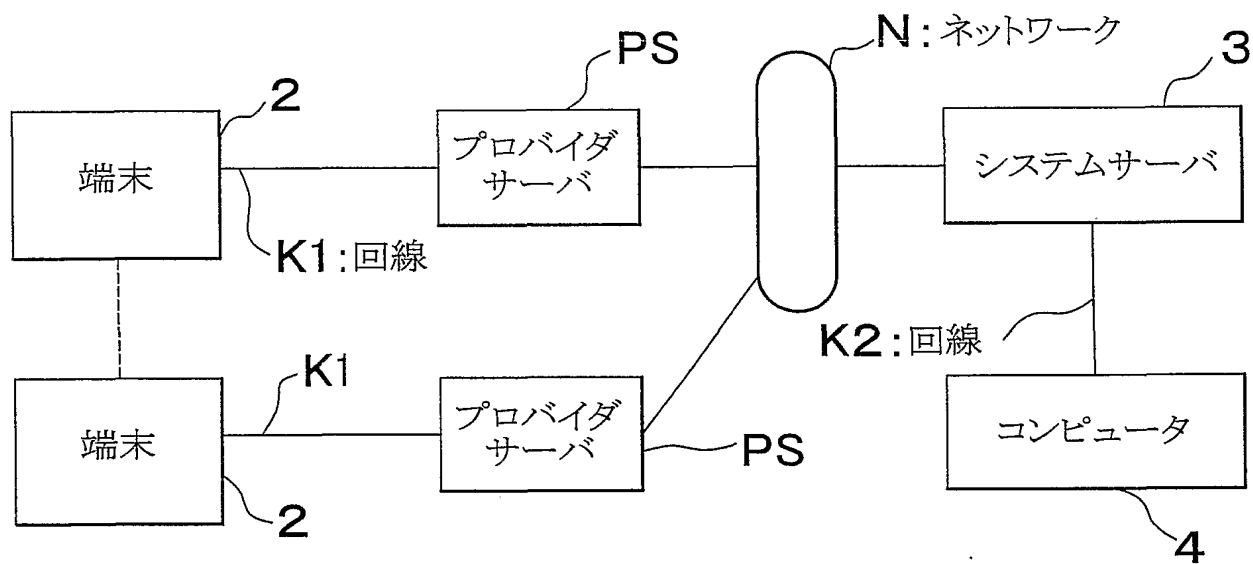
前記利用者端末から前記スキンケア商品の選択、および購入データの入力を行い、前記ネットワークを介して前記システムサーバに送信し、前記スキンケア商品を発注するステップとを有することを特徴とする商品提供方法。  
15

5. 利用者端末に表示された利用者のボディタイプを判定するチェックシートの回答をネットワークを介してシステムサーバに入力するステップと、

その回答から前記システムサーバが、判定プログラムに基づいて、利用者のボディタイプを予め設定された2以上のタイプのうち、どのタイプに属するかを判定し、そのタイプに見合った健康食品を選択し、前記判定されたタイプと前記健康食品の情報とを前記ネットワークを介して前記利用者端末に  
20 返信し、前記利用者端末に表示させるステップと、

前記利用者端末から前記健康食品の選択、および購入データの入力を行い、前記ネットワークを介して前記システムサーバに送信し、前記健康食品を発注するステップとを有することを特徴とする商品提供方法。  
25

図 1



## 図 2

## 「美容」と「健康」プログラム

このサイトは人間をエコロジーの一部としてとらえる東洋医学の考え方を基本に、個人差を重視した美容と健康に役立つ実用的な情報提供を目的としています。

あなたに適したスキンケア製品、栄養補助食品などの製品紹介ページにもリンクしています。

●あなたの美肌プログラム <u>肌体質チェック</u>
●あなたの安眠プログラム <u>ぐっすり眠れない体質プログラム</u>
●あなたのダイエットプログラム <u>ボディタイプチェック</u>
●あなたの髪の毛プログラム <u>発毛・白髪体質チェック</u>
●あなたの花粉症解消プログラム <u>花粉症体質チェック</u>
●あなたの更年期障害解消プログラム <u>更年期体質チェック</u>
●あなたの肩こり解消プログラム <u>肩こり体質チェック</u>
●あなたの冷え症解消プログラム <u>冷え症体質チェック</u>
●あなたの便秘解消プログラム <u>便秘体質チェック</u>
●あなたの生理痛解消プログラム <u>生理痛体質チェック</u>
●あなたの風引き予防プログラム <u>風引き体質チェック</u>

## 図 3

## あなたの美肌プログラム—美肌体質チェック

実際年齢よりも肌年齢を若くするためのファーストステップ、あなたの「美肌体質」を判定します。全身状態を問うチェックシートの質問に答えると、あなたの「美肌体質」を自己判定することができ、体質ごとにきれいになるための実用的な対処法を説明します(無料)。あなたにおすすめの製品紹介ページもあります。

### 《肌とからだの関係》

●東洋医学では「肌は内臓の鏡」と言われ、肌の状態がからだの中の状態を表わしていると考えられています。つまりからだの外である肌の手入れをすることは大切ですが、からだの中からもきれいにしなければ本当の「美肌」は手に入れないということも意味しています。これは私たち人間の体を機械のようにパーツに分けて考えずに、一つの世界(宇宙)として、つまりエコロジーの一部として考えていることによるものです。例えば、自然界には大気が天に昇って雲を形成し、雨となって地へ降りてくるといった循環がありますが、この循環により自然界は温まりすぎず、冷たくなりすぎず、乾燥しすぎず、湿りすぎずといったバランスが保たれています。同じように自然界との関係の中で、私たち人間のからだでは気・血・水が循環することによってこれらのバランスを保っていると考えています。



●したがってこの「美肌プログラム」では、あなたの気・血・水の循環とそのバランスの偏り具合を判定するために、すなわちあなたの「肌体質」を判定するために、あなたの全身状態をチェックします。個人差を重視し、五つの「肌体質」に分けてましたが、あなたがどの「肌体質」の特徴が強いかを自己判定できるよう、「あなたの肌体質判定チェックシート」を作成しました。ぜひトライしてみてください。

### 《あなたの「肌体質」判定チェックシート》

●この「美肌体質」判定チェックシートでは、あなたの気・血・水の循環とそのバランスの偏り具合(《肌とからだの関係》)を判定するために、すなわちあなたの「肌体質」を判定するために、あなたの全身状態をチェックします。あなたのからだが全身で発している症状から、からだの気血水のバランス状態を判断することにより、からだが美肌獲得のために欲している信号を明確にキャッチすることを目的としていると言えます。個人差を重視し、五つの「肌体質」に分けましたが、あなたがどの「肌体質」の特徴が強いのかを自己判定できるよう、次のようなチェックシートを作成しました。ぜひトライしてみてください。

●この「肌体質」判定チェックシートは、できれば春夏秋冬の季節ごとにトライして、あなたの「肌体質」を定期点検してみてください。なぜなら実際には、強弱の差はあってもいくつかの「肌体質」があなたに混在していることも多く、季節の変化やあなたの生活習慣によっては、あなたを特徴付ける「肌体質」が変化することもあるからです。《四季の変化とからだの関係》

## 図 4

※最初に年齢を入力し、チェック項目では日常的にはっきり自覚している項目をすべてクリックして選んでください。

※年齢も肌体質を判定する上で重要ですから正確に入力してください。

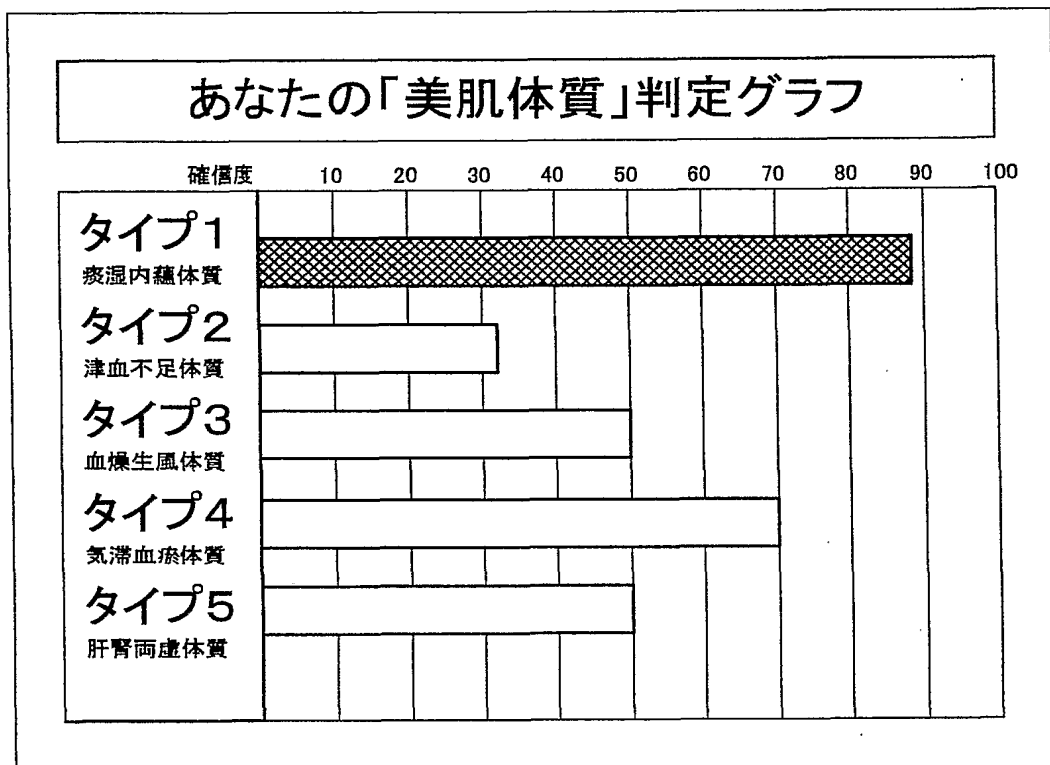
年 齢	才
-----	---

<input type="checkbox"/>	Q1. 顔にツヤがない
<input type="checkbox"/>	Q2. よく目がかすんだり疲れたりする
<input type="checkbox"/>	Q3. よく目の下にクマが出る
<input type="checkbox"/>	Q4. 唇または爪に血色がなく、爪がもろい
<input type="checkbox"/>	Q5. 肌が乾燥している、または乾燥気味である
<input type="checkbox"/>	Q6. ニキビなどの吹出物が出やすい
<input type="checkbox"/>	Q7. 肌のきめが粗く、ざらつく感じがする
<input type="checkbox"/>	Q8. シミ・ソバカスが多い、またはできやすい
<input type="checkbox"/>	Q9. 首周りや顔にイボが多い
<input type="checkbox"/>	Q10. 化粧ののりが悪い
<input type="checkbox"/>	Q11. 吹出物やキズなどの跡形が残りやすい
<input type="checkbox"/>	Q12. 髪の毛が傷みやすい、またはフケが出やすい
<input type="checkbox"/>	Q13. 抜け毛が多い、または白髪が多い
<input type="checkbox"/>	Q14. からだがかゆくなることが多い
<input type="checkbox"/>	Q15. 疲れると小ジワができやすい
<input type="checkbox"/>	Q16. 腹部や太ももに脂肪が付きやすい
<input type="checkbox"/>	Q17. からだが疲れやすい
<input type="checkbox"/>	Q18. どちらかと言えば水太りの体型である
<input type="checkbox"/>	Q19. 花粉症になりやすい
<input type="checkbox"/>	Q20. 冷え症気味である
<input type="checkbox"/>	Q21. のぼせやすい、またはイライラしやすい
<input type="checkbox"/>	Q22. 顔や手足がむくみやすい
<input type="checkbox"/>	Q23. 口臭、腋臭、体臭のどれかがある
<input type="checkbox"/>	Q24. 汗をかきやすい
<input type="checkbox"/>	Q25. 便秘がちである
<input type="checkbox"/>	Q26. 生理痛になりがちである
<input type="checkbox"/>	Q27. おりものが多い
<input type="checkbox"/>	Q28. 立ちくらみしやすい
<input type="checkbox"/>	Q29. よく頭痛がする
<input type="checkbox"/>	Q30. 甘い物または油っこい物が好きである

判 定
-----

「判定ボタン」をクリックする。

図 5



(例) 「あなたはタイプ1 (痰湿内蘊体質) の傾向が見られます」

## 図 6

たんしつないうん

## 肌体質タイプ1(痰湿内蘊体質)

## 《あなたはこんなタイプ》

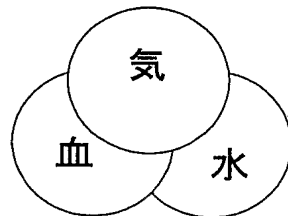
●このタイプの典型像は、脂性肌の傾向で、ニキビや吹き出物ができやすく、甘い物や油っこい物を好む傾向があり、体型的にも脂肪がつきやすく、口臭、腋臭、体臭、顔や手足がむくみやすい、おりものが多い、便秘がち、抜け毛が多い、白髪が多いといった症状を伴うことが多く、そのほか髪の毛が傷みやすい、フケが出やすい、シミやソバカスが多い、毎年春先になると花粉症になりやすい、のぼせやすい、イライラしやすい、汗をかきやすいなどの症状を自覚することもあるでしょう。

## タイプ1によく見られる症状と見られる可能性(★の数で表示)

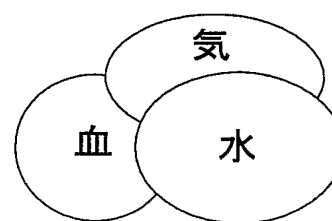
にきびなどの吹き出物がでやすい	★★★★★
顔や手足がむくみやすい	★★★★★
甘い物または油っこい物が好き	★★★★
便秘がちである	★★
おりものが多い	★★
シミ・ソバカスが多い、またはできやすい	★
首周りや顔にイボが多い	★
イライラしやすい	★
汗をかきやすい	★

●あなたは東洋医学の気血水の循環で言うと、「気」のめぐりが停滞して、「水」が溜まりやすいのです。つまり人は飲食物を摂取し、消化吸收してエネルギーに変換し、不要な水分や老廃物は呼吸、発汗、排尿、排便によりからだの外へ排泄するという生理機能を備え、これにより心身のバランスを保っていますが、あなたはストレスや食事、運動不足などの生活習慣によって、水分代謝に支障をきたし、不要な水分や老廃物がからだに残りやすいのです。からだの内にとまった水分は、時間とともに体温の影響で熱を帯びてきますが、体力的にエネルギーがあり余っている人や、辛くて濃厚な味、アルコールを好む人は特にその傾向が強くなります。そのため上記のような諸症状が起こりやすいのです。

理想的な肌体質の気血水分布



タイプ1肌体質(痰湿内蘊)の気血水分布



●逆にあなたのこれからの生活習慣の在り方によっては、アトピー性皮膚炎、糖尿病、動脈硬化、高脂血症、脳血管障害、心筋梗塞、高血圧症などの病気に相対的になりやすい体質ですから、日頃の体質改善を心がけましょう。

《あなたにおすすめの製品紹介ページ》

《あなたにおすすめの漢方薬図鑑》

《あなたにおすすめのレシピ》

しんけつぶそく

## 肌体質タイプ2(津血不足体質)



## 図 7

## 《あなたにすすめの漢方薬図鑑》

## 《タイプ1痰湿内蘊体質》にすすめの漢方薬

## ● 苡仁 ヨクイニン（生薬写真）

イネ科ハトムギの種子。薬味薬性：甘、淡、微寒。薬能：利湿健脾、除痺、清熱排膿。穀物中では最も優れた栄養源で滋養強壮作用もあります。からだの余分な湿気を取り除く作用があるので、湿度が高い日本に暮らし、湿度の影響を受けやすい私たちには格好の健康食品と言えるでしょう。ダイエット食品、梅雨や夏の薬膳料理の素材にもよく使われ、また癌の予防にもなると言われています。東洋医学ではイボの治療などによく用いられ、シミ、ソバカス、ニキビにも効果的です。

## ● 赤小豆 セキショウズ（生薬写真）

マメ科ツルアズキの種子。薬味薬性：甘、平。薬能：清熱利水、散血消腫。いわゆるアズキのことで『古事記』にも出てくる日本古来の食物です。利尿作用がありむくみをとるなど、からだの余分な水分を排泄させてくれます。甘い物を食べると尿の出が悪くなることもあって、昔から羊羹や饅頭、ぜんざいなどにはアズキをよく使っているのは大変理にかなったことなのです。また湿度が高い日本の風土による食習慣とも言えるでしょう。

## ● 蚕絲 サンシ（生薬写真）

カイコ蛾のマユから採った生糸。つまりシルクの原料。生糸は18種類のアミノ酸を含んでおり、薬用だけでなく美容面での価値が高いのです。李時珍の『本草綱目』によると、生糸を加工したものを絲素（シソ）と呼び、水溶性物質で分子量が小さく、強い浸透力を持っています。肌のシミを取り、化膿性皮膚病を治療する効果があります。生糸にはロイシン、セリン、ストレニン、フィブロインという物質が含まれています。ロイシンは肌細胞の新陳代謝を加速させ、皮膚組織の再生能力を促進する効果があります。セリン、ストレニンは皮膚の表面細胞の活力を増強し、肌の老化を遅らせ、顔のシワを減少させます。フィブロインは繊維状たんぱく質で、その分子構造が皮膚を構成するゼラチンによく似ているので、肌の弾力性の強化と保湿効果に優れています。またチロジナーゼの活性を抑えて皮膚のメラニン色素の生成を抑えるので美白効果も期待できます。

## ● 薄荷 ハッカ（生薬写真）

シソ科ハッカの全草。薬味薬性：辛、涼。薬能：疎散風熱、清咽透疹。薄荷の匂いには興奮作用や血液循環を改善する作用があり、心身のストレスの発散に好都合といえるでしょう。欧米人は肉食が多いのでからだに老廃物がたまりやすく、そのためよくシミが出ますが、その解毒のために薄荷を食べたり、香辛料を積極的に摂取するのです。肌に使用すると炎症を取り、かゆみをとめる作用があります。

## 図 8

## 《あなたにおすすめのクッキングレシピ》

## 《タイプ1痰湿内蘊体質》におすすめのクッキングレシピ

消化管機能を高めてからだの水分代謝を活発にすることがあなたには重要なのです。その意味で手軽にできてあなたにおすすめのレシピを紹介します。「サトイモ」はストレスなどで低迷した胃腸の働きを高めて、便通をよくしてくれます。「ハト麦」は排尿・排膿を活発にし、「茯苓(漢方生薬、ぶくりょう)」は胃腸の働きを整えて活発にすることにより、からだに溜まりがちな不要な水分を排泄させる作用があります。もし気に入ったら、時々作って食べてみてください。味付けは自分好みに適当に調整してもかまいません。

## ●サトイモの甘草煮

【材料】サトイモ 1kg、甘草 5g、ブロッコリー 適量、絹さやなどの青み 適量、うずら卵 適量、しょうゆ 適量

※「甘草」は漢方生薬として漢方薬局で入手することができます。

## 【作り方】

- ①2カップの水に甘草を入れ、煎じて1カップとする。
- ②サトイモは少し硬めにゆでる。
- ③うずら卵はゆでる。
- ④ブロッコリーは塩ゆでする。
- ⑤ゆでたサトイモを油で炒め、甘草の煎じ汁1カップ、しょうゆ適量、ゆでたうずら卵を加え、軟らかくなるまで煮込む。
- ⑥ブロッコリーは飾りにのせる。

## ●はと麦と茯苓のお粥

【材料】はと麦 1カップ、米 1カップ、茯苓 10g、鶏肉 適量、干しいたけ 3～4枚

※「はと麦」「茯苓」は漢方生薬として漢方薬局で入手することができます。

## 【作り方】

- ①はと麦はよく洗って一晩水につけてから7カップの水で柔らかくなるまで煮る。
- ②鶏肉、茯苓、しいたけは細かく切る。
- ③米は5カップの水につけて1時間くらいおいてから火にかけ、煮たって、弱火にしたら鶏肉、茯苓、しいたけを入れ、麦を煮汁ごと入れて煮上げる。
- ④ねぎの千切り、ごま、しょうゆ、搾菜などを好みに応じて添える。

## ●薄荷入りの紅茶

お好みの紅茶に薄荷適量を濾して入れます。

## 《タイプ2津血不足体質》におすすめのクッキングレシピ

## 麦門冬入りのお粥

《タイプ3》用

《タイプ4》用

紅花入りミンチボール

《タイプ5》用

黄耆入りのお粥、枸杞子入りのお粥、栗のお粥、黄耆を人参入りのお粥、菰のお粥、鶏肉のしいたけナツメ蒸し、キラー細胞増強薬用酒(黄耆、炙甘草、桂皮入り)、人参酒

図 9

製品紹介ページ

たんしつないうん  
《タイプ1 痰湿内蘊体質》に おすすめ

(4アイテム製品写真)

オイリー肌に傾きがちなあなたへ。あなたはからだの水分代謝に支障をきたし、不要な水分や老廃物がからだに残りやすい体質であることが問題なのです。からだの中からは水はけをよくし、老廃物や余分な水分を呼吸や皮膚から、そして大小便として排泄させるとともに、外からは皮脂を抑えてお肌を清潔に保ち、かつ鎮静を促すべく、あなたの潜在能力を呼び覚ます究極の製品ラインナップ。個人対応プログラムの真の威力を体感していただくためにも、ぜひ製品ラインナップの組合せの妙をお楽しみください。

## 【洗顔料】

オイリー肌に傾きがちな肌のテカりを解消、メイクくずれしない本来のお肌を取り戻すことができます。あなたに備わる潜在能力をも活用して、お肌の垢はもちろん毛穴の奥の皮脂や老廃物などの汚れまでスッキリと洗い落とし、しかも洗顔後の自然なお肌の保湿コンディションがとっても爽快です。

配合成分 ビワヨウ、ソウカク、カロニン(アイコン様イラスト挿入)

## 【化粧水】

パッティングすることでお肌を清潔かつ鎮静に保ち、ニキビや吹出物を悪化させる雑菌の繁殖を抑えるので、さっぱり感がとっても心地よく感じられます。あなた自身の潜在能力に働きかけ、大きくなりがちな毛穴を引き締め肌ざわりをしなやかに整えます。

配合成分 ソウハクヒ、キクカ、キンギンカ(アイコン様イラスト挿入)

## 【美容液】

お肌の保湿バランスが平衡状態に回復するとそれ以上作用せずお肌のコンディションを維持します。これはお肌自体の調節機能が活性化され、べとつきがちなあなたのお肌が適度な保湿バランスを取り戻し、ベストコンディションの肌を維持できるよう、お肌からあなたの潜在能力をサポートするからです。

配合成分 リョクズ、トウガシ、サンシ、ハッカ(アイコン様イラスト挿入)

## 【健康食品】

からだの中から一步一步あなたの潜在能力に働きかけ、正常な水の代謝を促進することで、老廃物や余分な水分を排泄させ、全身を適度な水分バランスに調整してくれる一方、お肌の鎮静にも働きかけてくれるホリスティックなサプリメントです。

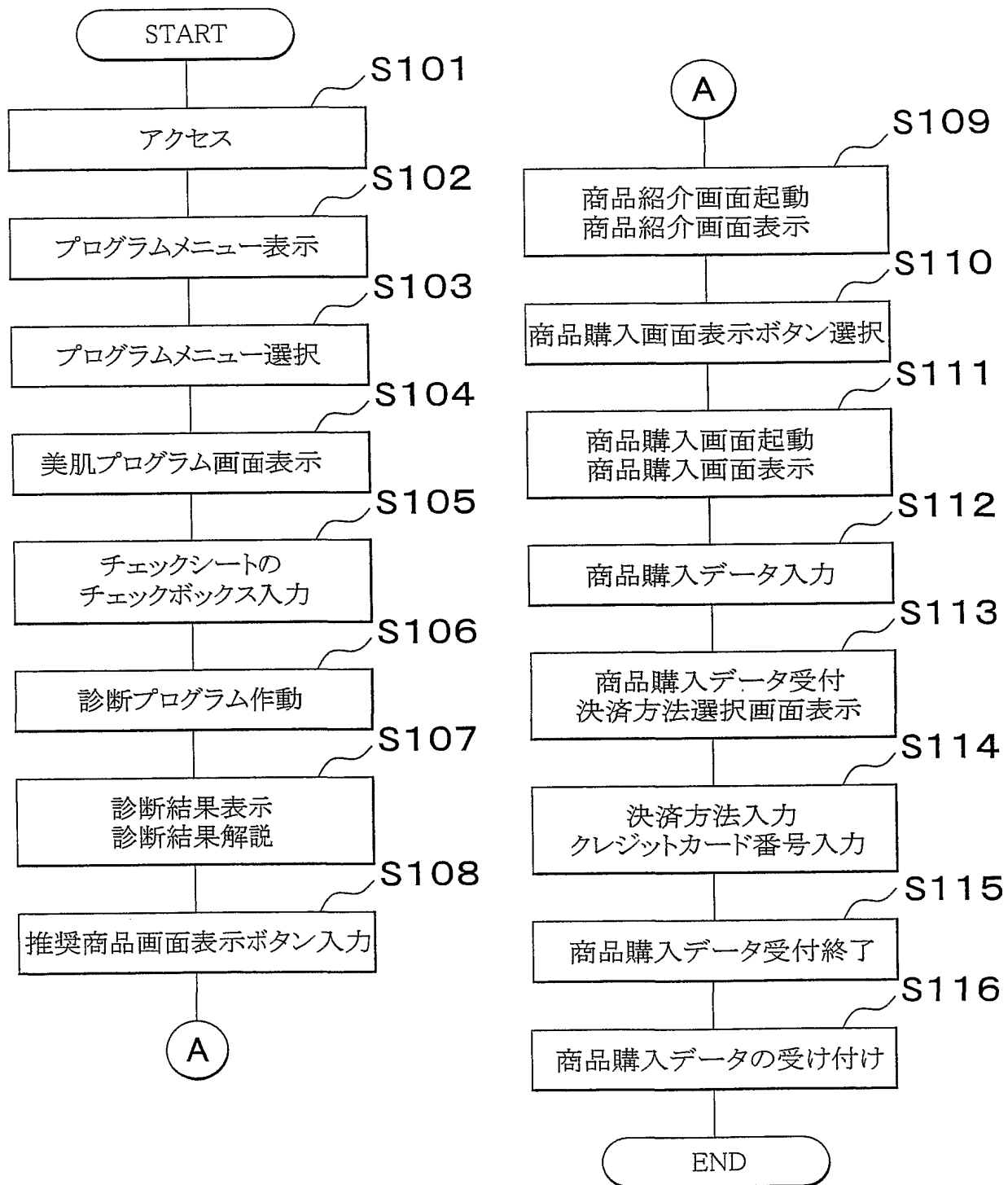
配合成分 ヨクイニン、シャクショウズ、オンジ、レンシ、レンヨウ(アイコン様イラスト挿入)

しんけつぷそく  
《タイプ2 津血不足体質》に おすすめ

(4アイテム製品写真)

S

図10



## 図11

## あなたのダイエットプログラム—ボディタイプチェック

《ダイエットする前に知っておこう》

### ①からだのエネルギーのINとOUT

私たちは誰でも遺伝的に持って生まれた部分と、気候風土、風俗習慣、居住環境、経済的・社会的・家庭的日常生活、飲食物等々、生まれてから影響を受ける要因とが合わさって成り立っている存在と言えます。とりわけ私たちの体を構成する遺伝的な要素の上に、飲食物を摂取して体の働きを増進・維持し、日常生活の中でエネルギーを消費するというのが私たち人間の基本的なエネルギーの摂取・消費形態なのです。

### ○肥るってどうこうこと？ なぜ肥るの？

飲食物を摂取して生まれる摂取エネルギーが、日常生活の中で消費エネルギーを上回ると、全身の脂肪組織に必要以上に中性脂肪が蓄積してしまいます。これを肥満と言いますが、そのうちで肥満症とは、肥満の程度が末病の範囲か既病の範囲かを問わず、健康で美しくあるためには何らかの対処をしなければならない病的な状態なのです。

### ○漢方に学ぶ「肥る」「肥らない」のメカニズム

漢方では基本的な人間のエネルギー形態を「腎」と「脾」という考え方に割り当てています。

「腎」は「先天の本」と言われ、人体の受精後および誕生後の成長・発育・生殖・老化を含む諸々の生命活動を支配する機能の総称で、「腎」の働きが悪くなると、一部は生命エネルギーの低下として表われ、これは多くの場合、漢方で言う「冷え症」に相当します。

「冷え症」は漢方独特の概念で、気血水すべての関係する病的状態と言えますが、基本的にはエネルギー代謝の低下と言えるでしょう。人間のエネルギー代謝には、基礎代謝、運動時代謝、食物摂取後の特異動的熱産生などがありますが、女性は男性と比べて脂肪率が高く、同一年齢で比べると男性よりもエネルギー代謝は低く、男性より女性の方が「冷え症」ははるかに多いのです。



あなたのボディタイプを判定するためのパーソナルチェックシートを作成しましたからトライしてみてください。

### 《パーソナルチェックシートをチェックする際の注意点》

1. このパーソナルチェックシートの対象年齢は高校卒業後年齢～60歳迄です。また特別大きな病気に罹っている方も対象にはなりません。もし対象であるにも関わらずボディタイプの判定結果があまりにも実際とかけはなれている場合は、一度医師の診察を受けられることをおすすめします。
2. パーソナルチェックシートに挑む前に、ご自身の生活環境・習慣がここ何年間変わらず継続しているかどうかをまずチェックしてください。ここ2～3ヶ月間、発奮して運動することを生活習慣にしているなどの要因が加わると結果が不正確になるかもしれません。その場合、原点に戻って注意深く自分に正直にチェックしてください。
3. チェック項目によっては第三者に判断してもらうほうがよい場合もあります。

図12

## ステップ①「あなたの胃腸の強弱度チェック」

設問項目	はい	どちらとも言えない	いいえ
1. すぐ満腹になる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 容易にお腹が脹る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. ちょっとしたことでも下痢しやすい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. よくお腹がゴロゴロいう	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 甘い物が好きである	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 声が弱々しいと言われる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 手足に力が入らない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 疲れやすい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 周囲に活発な印象を与えない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 少し動いただけでも汗をかく	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 気持ちよく満腹感を味わう	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. ついつい食べ過ぎてしまう	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. よく間食をする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 味付けをよく工夫する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. アルコールをそこそこ飲む	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. 声がハキハキしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 活発である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18. 食べる話をするのは好き	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19. 肌のツヤがよい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20. 人付き合いはよい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

図13

## ステップ②「あなたの冷え症度チェック」

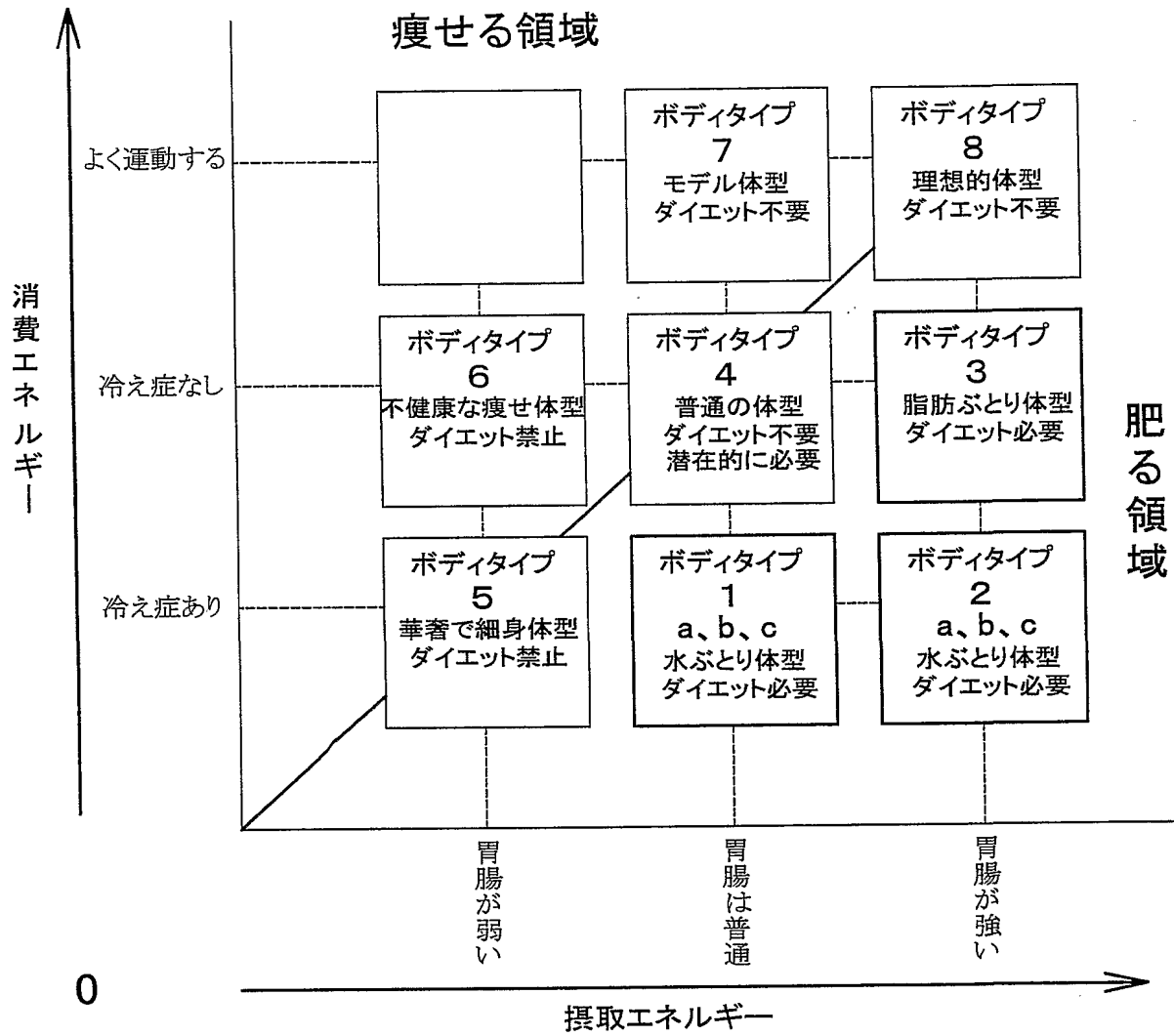
設問項目	はい	どちらとも言えない	いいえ
1. 足か腰が冷えやすい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 夏はクーラーが苦手である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 冬は暖房の側に陣取る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 体温は低目である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 水の中に座っているような感じがする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 天気が悪くなると体調不良になる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 更年期を迎えている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 筋肉がピクピクすることがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 立ちくらみしやすい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 顔または足がむくみやすい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

図14

## ステップ③「あなたの運動不足度チェック」

設問項目	はい	どちらとも言えない	いいえ
1. 動くのがおっくうである	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 腰が重いとよく言われる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 筋肉が弱々しい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. ちょっと運動するとすぐ疲れる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 休日は家でゴロゴロしていたい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. キビキビよく動く方だ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. からだが軽く感じる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 以前から運動する習慣になっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 休日は外出やスポーツをすることが多い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. エレベーターやエスカレーターを使わずに階段を利用する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

図15





## 図16

然の解熱剤なのです。生野菜ではなく、煮炊きして食べるほうがよいのです。季節はずれの野菜が出回っていますが、一般に夏の野菜や熱帯産の果物・野菜は体を冷やす作用があることを知っておくべきです。冬に夏の野菜や熱帯産の果物・野菜を食べるということは避けた方がよいでしょう。

●ジョギングなど全身を動かす有酸素運動は、カロリー消費という点ではダイエットに有効なはずですがあなたは筋肉の質が悪く、ジョギングなどの有酸素運動を継続する能力に欠けるのです。無理に強行すると、筋肉・腱・靭帯組織を傷めてしまいがちです。したがって有酸素運動よりもまずダンベル体操などの無酸素運動に取り組み筋肉の質を高めるとよいでしょう。

●更年期以後は変形性膝関節症になりやすいので要注意。

《おすすめ製品紹介ページ》へリンク

### ボディタイプ3

#### 《あなたはこんなタイプ》

あなたは冷え症もなく胃腸も強いですが、運動不足であるという場合になる体型で、ボディタイプ1、2とは違って「脂肪ぶとり体型」です。「脂肪ぶとり」は「水ぶとり」とは違ってお腹の周囲に付いた脂肪が顕著で、もし男性ならば容易に内臓脂肪過剰型の脂肪が蓄積してしまうタイプです。

#### 《アドバイス》

●あなたは「冷え症」がない分、エネルギーの代謝が高く、効率的に摂取エネルギーを消費することができますから、ボディタイプ1、2の人よりも比較的ダイエットしやすいと言えるでしょう。「生活習慣」以外の要因が大きいボディタイプ1、2の人とは違って、あなたの体型は「生活習慣」のあり方による面が大きいのです。飲食物の摂取エネルギーを控えめにするとともに、蓄積した中性脂肪を燃焼させなければなりません。したがってあくまであなたのダイエットは運動不足解消が主になり、

●今日、生活習慣病予防としては、内臓脂肪が重要視されますが、このタイプは最も要注意です。

《おすすめ製品紹介ページ》へリンク

### ボディタイプ4

#### 《あなたはこんなタイプ》

あなたは体格・体力ともに中等度の体型です。しかし積極的に健康体とも言いがたく、まずは普通の体型と言えるでしょう。これからの環境的・個人的要因によっては他の体型に移行する可能性があります。したがって特にダイエットする必要はありませんが、潜在的に対象となり得ます。

#### 《アドバイス》

### ボディタイプ5

#### 《あなたはこんなタイプ》

あなたは食が細く、典型的な冷え症かつ胃腸の弱い人です。一般的には、このタイプの人には胃下垂症のある華奢(きゃしゃ)な細身の体型で、とりわけ色白肌の人であることが多いです。あなたはダイエットするべきではありません。

#### 《アドバイス》

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP01/05799

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER  
Int.Cl.<sup>7</sup> G06F17/60

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

## B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl.<sup>7</sup> G06F17/60

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2001
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2001	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2001

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

JICST FILE (JOIS)

INSPEC (DIALOG)

## C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	Masayuki SUGIYAMA et al., "Internet Jidai no Web Eigyou Senryaku", 1 <sup>st</sup> edition, Asuka Shuppansha, 29 February, 2000 (29.02.00), pages 55 to 72	1-5
A	JP 10-207941 A (Hitachi Ltd., et al.), 07 August, 1998 (07.08.98), Full text; Figs. 1 to 13 (Family: none)	1-5
A	JP 9-204445 A (Yutaka TSUKAMOTO), 05 August, 1997 (05.08.97), abstract; Par. Nos. [0001] to [0025]; Figs. 1 to 3 (Family: none)	1-5
A	JP 4-281555 A (Kanebo, Ltd.), 07 October, 1992 (07.10.92), Full text; Figs. 1 to 5 (Family: none)	1-5
A	JP 10-334326 A (System Consulting Service K.K.), 18 December, 1998 (18.12.98), Full text; Figs. 1 to 25 (Family: none)	1-5

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.☐ See patent family annex.

\* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier document but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search  
08 August, 2001 (08.08.01)Date of mailing of the international search report  
21 August, 2001 (21.08.01)Name and mailing address of the ISA/  
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP01/05799

## C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 9-26950 A (Matsushita Electric Ind. Co., Ltd.), 28 January, 1997 (28.01.97), Full text; Figs. 1 to 15 (Family: none)	1-5
A	JP 11-96214 A (Matsushita Electric Ind. Co., Ltd.), 09 April, 1999 (09.04.99), Full text; Figs. 1 to 17 (Family: none)	1-5
A	JP 11-15887 A (Fuji Xerox Co., Ltd.), 22 January, 1999 (22.01.99), Full text; Figs. 1 to 8 (Family: none)	1-5

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))		
Int. Cl <sup>7</sup> G06F17/60		
B. 調査を行った分野		
調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))		
Int. Cl <sup>7</sup> G06F17/60		
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの		
日本国実用新案公報 1922-1996年 日本国公開実用新案公報 1971-2001年 日本国登録実用新案公報 1994-2001年 日本国実用新案登録公報 1996-2001年		
国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)		
JICSTファイル (JOIS) INSPEC (DIALOG)		
C. 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	杉山勝行 他, インターネット時代のWeb営業戦略, 初版, 明日香出版社, 29.2月.2000(29.02.00), pp.55-72	1-5
A	JP 10-207941 A(株式会社日立製作所 他), 7.8月.1998(07.08.98), 全文, 図1-13(ファミリーなし)	1-5
A	JP 9-204445 A(塚本豊), 5.8月.1997(05.08.97), [要約], [0001]-[0025], 図1-3(ファミリーなし)	1-5
A	JP 4-281555 A(鐘紡株式会社), 7.10月.1992(07.10.92), 全文, 図1-5(ファミリーなし)	1-5
<input checked="" type="checkbox"/> C欄の続きにも文献が列举されている。 <input type="checkbox"/> パテントファミリーに関する別紙を参照。		
* 引用文献のカテゴリー 「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技术水準を示すもの 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す) 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 の日の後に公表された文献 「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」 同一パテントファミリー文献		
国際調査を完了した日	08.08.01	国際調査報告の発送日
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号		特許庁審査官 (権限のある職員) 吉田 耕一
		5 L 2942 電話番号 03-3581-1101 内線 3560

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリ*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	JP 10-334326 A(システムコンサルティングサービス株式会社), 18.12月.1998(18.12.98), 全文, 図1-25(ファミリーなし)	1-5
A	JP 9-26950 A(松下電器産業株式会社), 28.1月.1997(28.01.97), 全文, 図1-15(ファミリーなし)	1-5
A	JP 11-96214 A(松下電器産業株式会社), 9.4月.1999(09.04.99), 全文, 図1-17(ファミリーなし)	1-5
A	JP 11-15887 A(富士ゼロックス株式会社), 22.1月.1999(22.01.99), 全文, 図1-8(ファミリーなし)	1-5